

第2回はつかいち春のみどりまつり

## 快晴の中 土にふれ、新緑を楽しむ

第2回はつかいち春のみどりまつりが、5月18日、新宮中央公園で開催されました。会場には花苗の販売や、苔玉の講習会などが行われました。

緑のカーテン講座講師の廿日市造園緑化建設業協会の橋本博さんは「緑に親しむ機会をもってもらい、育てることを楽しんでほしい」と、植物の生態や育て方を説明。会場では消防車の写生大会も行われ、参加者はまつりを楽しんでいました。



苔玉の講習会に参加した岡松夏紀さん・裕香さん(桜尾本町)は、「普段土に触ることがないので、いい機会になった」と話してくれました。

廿日市市制施行25周年記念 人権講演会

## 乙武洋匡さんが熱弁 「チャレンジ精神を忘れずに」

6月8日、さくらびあで、人権講演会を開催しました。

講師の乙武洋匡さんは、「『言い訳をしない』、『チャレンジをせずに、できる、できないということと言わない』を信条に今まで生きてきた」と話しました。会場を埋め尽くした来場者からは、「元気をいただいた。」「自分もがんばりたい。」といった感想が寄せられました。

当日は会場が満席になり、せっかくお越しいただきながら、やむを得ず入場をお断りする場面もありましたことをお詫び申し上げます。



吉和ひまわりの種植え体験

## 夏一番を前に、 一面の花満開に期待

5月18日、吉和郵便局近くの農地(13,000㎡)でひまわりの種植えが行われました。当日の参加者は150人。吉和の夏の風物詩に向け、丁寧に種を植えていました。

この取り組みは、ウッドワン美術館の所蔵する「農夫」がゴッホ作であることから、代表作の「ひまわり」にちなんで始められ、今年で11回目を迎えます。

夏、ひまわりの咲く季節にはぜひお立ち寄りください。

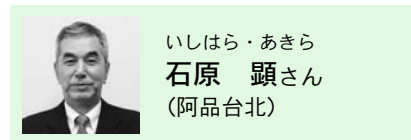


夏に咲くひまわりの花を楽しみに種を植える参加者。順調に成長しています。

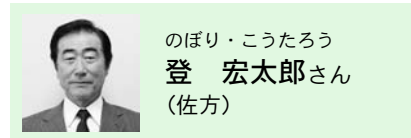
永年の功績をたたえ

## おめでとうございます 特別功労表彰

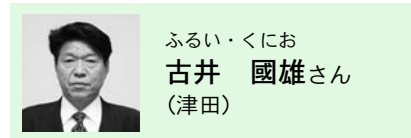
町・市議会議員として永年にわたり市政へ貢献された功績により、次の方々を廿日市市表彰条例に基づき、特別功労表彰を受けられました。(6月11日付け)



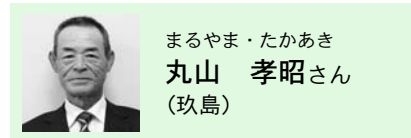
いしはら・あきら  
石原 顕さん  
(阿品台北)



のぼり・こうたろう  
登 宏太郎さん  
(佐方)



ふるい・くにお  
古井 國雄さん  
(津田)



まるやま・たかあき  
丸山 孝昭さん  
(玖島)

(五十音順)

第15回はつかいち木工まつり

## 「木工のまち」ならではの 木に触れる1日

5月26日、木材利用センターで「第15回はつかいち木工まつり」が開催されました。

木工品の販売や飲食コーナー、木工体験のコーナーなどのほか、今年初参加の宮島工業高等学校の生徒による木製おもちゃのコーナーは、子どもたちに大人気。会場を盛り上げてくれました。

まつり恒例の木の競り市では、威勢のいい掛け声や鐘の音が会場に響きました。



写真は、宮島工業高等学校自動車部による木製汽車の体験コーナー。昨年の夏休みを使って完成させたとのこと。

園児たちが稚エビを放流

## 稚エビさん、 大きくなあれっ！

梅原漁港と丸石漁港で6月11日、梅原保育園と丸石保育園の園児57人がクルマエビの稚エビ放流体験を行いました。

園児たちは、まだ表皮が柔らかい5cmほどの稚エビ約7,000尾をゆっくりと海に放ち、「大きくなっとなね」「元気だね」と呼びかけながら笑顔を浮かべていました。

この放流は、子どもたちに海に親しみ、命の大切さを知ってもらうため、毎年行われています。



市では合計3万尾を大野瀬戸に放流。放流された稚エビは、秋には15cmほどに成長するそうです。



第31回大野みんなのまつり

## 夏の訪れ、 活気あふれた2日間

6月8日、9日の2日間、第31回大野みんなのまつりが小田島公園で開催されました。

会場では2日間にわたり、カラオケ大会や神楽、吹奏楽の演奏など、熱気あふれるステージが披露されました。

2日間の来場者数は約9,300人。会場内には露店が並び、飲食ブースのほかにもお茶席やフリーマーケットなど来場者は思い思いにまつりを楽しみました。



写真1 宮島工業高等学校建築科生徒による巨大迷路。最後はスリル満点の建築現場をイメージした通路を通ります。写真は参加者をガイドする宮島生徒。写真2 会場に登場した宮島生によるクジラを模した巨大オブジェ。大きな口から入ることができ、子どもに大人気。写真3・4 浴衣姿の人や食事を楽しむ人も大勢いました。写真5 地元大野東、大野中学校吹奏楽部による演奏。写真6 まつりの最後にはもちまきが行われました。実行委員会会長の山本國雄さんは「まつりを積み重ねることに、地域の輪が広がっていきます」と話してくれました。写真7 大野地域の郷土芸能、鳥神太鼓。

アルカディア・ビレッジ営業再開

## 露天風呂、サウナ完備、 バーベキューも楽しめます

極楽寺山温泉アルカディア・ビレッジが6月1日に営業を再開しました。オープニングセレモニー後、早速温泉につかるなど、再開を心待ちにしていた来館者でにぎわいました。

売店では地元、後畑地区の野菜や米なども売られ、特色あるコーナーに。刈谷幹夫総支配人は「地元の方、来られるお客様に愛される施設づくりをしていきたい」と話してくれました。



来館者を出迎える従業員。無料の送迎バスも継続し、JR宮内串戸駅などを巡回します。施設内にはバーベキュー広場などレジャー施設もあります。

水難救助で消防長表彰

## 吉村誠さんが、 木材港沖で水難者を救助

5月22日、木材港沖で溺水状態の男性を救助したとして、吉村誠さん(山陽園)が消防長表彰を受けられました。

5月5日14時頃、木材港海上で釣りをしていた男性が、流されたゴムボートを捕まえようと、海に飛び込み溺れました。

作業船を点検中に男性を発見した吉村さんは、船で現場に向かい救助。男性は一命をとりとめ無事でした。



表彰状を受け取る吉村さん。「気がついたら救助に向かっていた。助けることができてよかった」と話してくれました。

第8回大野菖蒲まつり

## 初夏の便りを届けに 色鮮やかに咲く

6月8日、永慶寺公園周辺で、第8回大野菖蒲まつりが行われました。まつりではハナショウブなど15,000株を堪能する人で賑わいました。

会場では、大野産アサリを使った弁当や、手作りパンを販売する出店が並び、来場者は初夏の1日を楽しみました。まつりを主催した永慶寺万年青会会長一本木武彦さんは「草取りなどを丁寧に行ったおかげで今年は昨年に比べ、花がきれいに咲きました」と話してくれました。



会場にはハナショウブなど約6種類の品種が植えられ、切り花の販売も行われました。